

氏名	張 平平	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	2003年静岡県立大学大学院看護学研究科修士課程、2006年千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程				
経歴	2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本老年看護学会、日本地域看護学会、日本看護科学学会、日本世代間交流学会、日本リハビリテーション連携科学学会、千葉看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、文化看護学会、日中医学協会				

### 【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	看護学生と地域高齢者との世代間交流プログラムがもたらす効果に関する研究	共著	地域ケアリング、19(13)、100-102	張平平、林裕栄	2017.12
2	地域高齢者が考える最期の迎え方に関する日中比較研究	共著	保健医療福祉科学、7: 1-6	稲木あい、張平平	2018.3
3	地域高齢者と看護学生の世代間交流に関する研究	共著	保健医療福祉科学、7: 59-65	林裕栄、武田美津代、張平平、畔上光代、水間夏子、木村伸子、福田彩子	2018.3
4	個別機能訓練加算(Ⅱ)関連書類からみた通所介護における個別機能訓練のSPDCAサイクル	共著	保健医療福祉科学、7: 66-72	金さやか、臼倉京子、常盤文枝、星文彦、張平平、菊本東陽、藤縄理	2018.3
(3) 学会発表					
1	脳卒中高齢者の在宅生活が継続できる要因。日本老年看護学会第22回学術集会	共著	日本老年看護学会第22回学術集会、名古屋	○張平平、林裕栄	2017.6
2	Higher-level functional capacity among the community-dwelling elderly in Japan	共著	International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG), Sanfrancisco	○Pingping Zhang, Hiroe Hayashi, Hideo Sato, Takeshi Yamashita	2017.7
3	東日本大震災で侵襲を受けた高齢者が生を取り戻し再起するまでのプロセス—5年間の歩みに焦点をあてて—	共著	日本地域看護学会第20回学術集会、別府	○佐藤美香子、張平平	2017.8
4	脳卒中高齢者の在宅療養支援に関する研究	共著	第57回全国国保地域医療学会、東京	○張平平、武田光太郎、榎並久枝、田口和子、長井玲子	2017.9
5	Effects of an intergenerational exchange program between nursing students and community healthy elderly	共著	7th INTERNATIONAL CONFERENCE ON FRAILTY & SARCOPENIA RESEARCH (ICFSR2018)、Miami	○Hiroe Hayashi, Pingping Zhang	2018.3
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	看護学生と地域高齢者との世代間交流プログラムがもたらす効果に関する研究(研究代表者)			2015.4~2018.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	老年看護学 I (総論)	2017.10~2017.11	ライフステージの老年期を生きる方々の特徴及び、老年看護の基本について1年次の学生に教授した。また、高齢者への理解を深めるために視聴覚教材を活用した。		

2	老年看護学Ⅲ(高齢者と地域)	2018.1	老年看護学実習Ⅱでの体験をもとに地域の視点から高齢者をとりにくく社会システム構築の必要性と重要性に対する理解を強化するための授業で3年次の学生によるグループワークの指導を行った。	
3	老年看護援助論	2017.10~2017.11	老年看護の実践と研究との統合を図りつつ、質の高い老年看護援助方法を創出するために博士前期課程の大学院生を対象に超高齢社会の情勢に応じた老年看護学領域の研究の動向、高齢者理解のための諸理論、高齢者を対象とした先駆的な援助方法について教授した。	
<b>(2) 演習</b>				
1	老年看護学Ⅱ(高齢者と家族)	2017.4~2017.7	要介護高齢者を対象とした看護過程が展開される中、活動性が低下した高齢者への移動援助に関する演習を担当した。この演習は3年次学生を対象に高齢者擬似体験装具を用いて実施した。	
<b>(3) 実習</b>				
1	老年看護学実習Ⅰ	2017.4~2017.6	2年次の学生を対象に、2か所の高齢者福祉センターでの実習指導を担当した。学生は地域で生活する元気高齢者への理解が深まったのみならず、地域高齢者を支えるソーシャルサポートに関する認識も強化された。	
2	老年看護学実習Ⅱ	2017.10~2017.12	3年次の学生を対象に、介護老人保健施設での8週間(4クール)の実習指導を担当した。学生は受け持ち高齢患者への関わりを通して、看護過程の展開ができ、さらに老年看護の基本的実践能力も養うことができた。	
3	総合実習	2017.7	老年看護学領域を希望した4年次の学生を対象に、介護老人福祉施設での3週間の実習指導を行った。学生達は自分のもつ課題への取り組みができたのみならず、既習知識を活かした集大成も成し遂げられた。	
4	IPW実習	2017.10.	本学多学科からの学部生6名を対象に専門職連携実践に関する指導を行った。相互の専門性を理解しつつ、各自の強みを生かしたケアプランの作成において状況に応じたサポートを遂行した。	
<b>(4) 論文指導</b>				
1	博士前期課程	2017.4~2018.3	主指導:1名	
2	卒研	2017.4~2018.3	担当:6名	
<b>(5) その他</b>				
1	臨床看護研究指導	2017.6~2017.10	実習病院の臨床看護研究に関する指導を行った。	
2	老年看護学実習Ⅱ 指導者会議開催	2018.2.23	老年看護学実習Ⅱに関わった臨地実習指導者と一堂になって、本年度の実習状況の結果報告及び、これからの実習指導に関する協議を行った。	
<b>4. 社会貢献活動</b>				
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	日中医学笹川奨学金制度研究会	日中医学協会	脳卒中高齢者の在宅療養支援に関する日中共同研究	2018.3
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	文化看護学会編集委員会	委員		2017.4~2019.3
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>				
	メディア等の名称	内容		年月
1	日中医学	「在日中国人研究者を訪ねて」に関する記事の掲載		2017.11
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>				
1	看護学科2年次生担任(国試プロジェクト担当)			
2	教育開発委員会FD企画部会 委員			
3	地域専門職連携推進部会 委員			
4	山西医科大学留学生担当			
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
<b>7. 特許の保有状況</b>				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			

8. 特記事項	
	該当なし